

業績予想（連結・個別）及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 6 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

① 平成 22 年 3 月期 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	9,345	△ 950	△ 737	△ 830	△104.43
今 回 修 正 予 想 (B)	9,736	△ 728	△ 425	△ 509	△ 64.03
増 減 額 (B - A)	390	221	311	321	40.40
増 減 率 (%)	4.2 %	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 (平 成 21 年 3 月 期) 実 績	8,776	△ 1,316	△ 1,355	△ 1,241	△ 156.16

② 平成 22 年 3 月期 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,951	△ 1,089	△ 869	△ 902	△113.43
今 回 修 正 予 想 (B)	6,287	△ 889	△ 666	△ 531	△ 66.84
増 減 額 (B - A)	335	200	203	370	46.59
増 減 率 (%)	5.6 %	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 (平 成 21 年 3 月 期) 実 績	5,599	△ 1,442	△ 1,447	△ 1,281	△ 161.13

2. 業績予想の修正理由

平成 21 年 11 月に厚生労働省より発表された「医療施設等設備整備費助成金」の交付を見込んだ受注増加が追い風になり、平成 22 年 4 月施行予定の診療報酬改定に対応するための受注が堅調に推移したため、第 4 四半期は予測を上回ってシステム販売件数が伸びました。

また、平成 21 年 10 月より重点的に行ってまいりましたコスト圧縮が、収益面の改善にも寄与する見通しです。

さらに、本日開示しております通り、平成 22 年 3 月 26 日開催の取締役会において、株式会社ビー・エム・エルと電子カルテシステム開発のために平成 22 年 2 月 1 日に設立いたしました株式会社メデファクトに対して、当社の医事会計システム「Medical Receipty NEXT TYPE1」のソフトウェア著作権と、現在開発中の電子カルテシステムに関する資産を譲渡することを決議いたしました。

この資産譲渡により特別利益が発生する見通しであり、以上の結果、当期純損失が平成 21 年 11 月 6 日に開示いたしました業績予想数値を上回る見通しとなりました。

連結業績予想につきましては、個別の修正とともに調剤薬局事業が収益面で大きく改善する見通しであり、合わせて修正いたします。

3. 配当予想の修正について

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	—	未定	未定
今回修正予想	—	13円00銭	13円00銭
前期実績(平成21年3月期)	0円00銭	13円00銭	13円00銭

4. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして考えており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、時局に即応した配当を還元していくことを基本方針としております。ビジネスモデル変革のため、前期より従来とは異なる収益計上となっておりますが、収益状況等を勘案しながら安定した配当を継続することにより、株主還元を努めることを基本方針としております。

平成22年3月期の業績見通しにつきましては、平成21年11月6日に開示しております当初予想を上回る見通しであり、新たなビジネスモデルの浸透が進むことにより来期以降も安定した受注が見込めるとの予想から、前期と同額の1株当たり13円にさせていただく予定でございます。

(注) 本資料における予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上